

機械器具 22 検眼用器具

一般医療機器 シノプトフォア (JMDN: 36058000)

L-2510B シノプチスコープ

**【警告】**

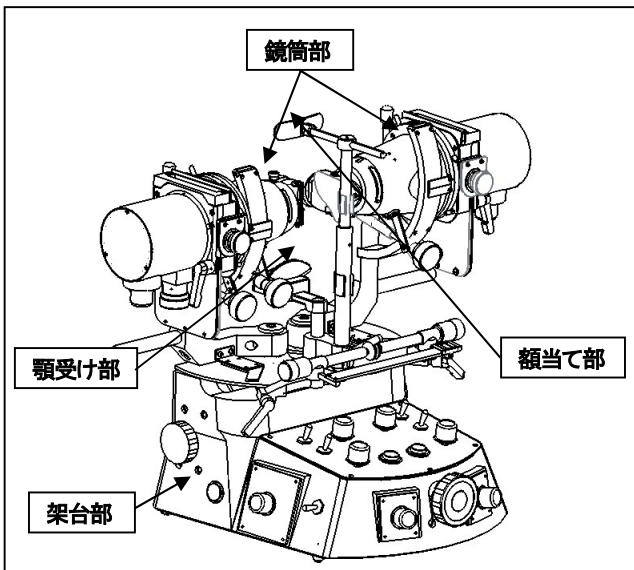
電球を交換する場合は必ず機器の電源スイッチを切る。また、直接素手で触れないこと[感電事故や火傷を引き起こす危険があるため]。

**【禁忌・禁止】**

1. 本体を分解したり、改造したりしないこと[故障/誤作動により事故を引き起こす可能性があるため]。
2. 故障、異常状態、未整備状態での使用をしないこと[故障/誤作動により事故を引き起こす可能性があるため]。
3. 濡れた手で触らないこと[故障/感電の可能性があるので]。
4. 本体に水をかけないこと[故障/感電の可能性があるので]。
5. 機器を強くたたいたり、揺すったり、擦ったりしないこと[故障/誤作動により事故を引き起こす可能性があるため]。
6. 熟練した人以外は操作をしないこと[誤った操作をしてケガや故障の原因となるため]。機器を強くたたいたり、揺すったり、擦ったりしないこと。

**\*【形状、構造及び原理等】**

1. 形状及び名称



2. 構造

シノプチスコープ(以下「本器」)は同時視、融像視、立体視の三要素に基づいた各種の検査、測定及びあらゆる両眼視機能異常の矯正や訓練を行なうときに用いる器械であって、架台部及びその架台上の回転部に固定された左右の動く鏡筒部、顎受け、額当て、付属品及びオプションスライドから構成される。

左右各々の鏡筒部には、スライド室、ランプハウス、及び取り外し可能な接眼部が具備されていて、その接眼部には眼の屈折調節をせずにスライドが明視できるよう凸レンズが入れている。

各々の図形を印刷したスライド、及びハーフミラーを用いた接眼部がセットされている。

3. 付属品

スライド箱	1組	スライド用白熱電球 8V 0.7A	2個
標準スライド	27組	H.B.用電球 8V 3A	2個
ヒューズ 1.0A	2個	電源コード	1本
ハーフミラー接眼	1組	取扱説明書	1部
本体ダストカバー	1枚	添付文書	1部

4. オプションスライド

(1) L-25P シノプチスコープ専用スライド “ポケットマスター”

- ・同時視用 5組(各2枚)
- ・融像視用 5組(各2枚)

5. 取り付け可能品

L-25B-7000 ハイテンカーフラッシュ装置 (製造販売届出番号: 13B1X00048002044)

6. 仕様

項目	仕様
瞳孔距離調整幅	45 mm ~ 80 mm
顎受け位置調整	上下移動量 60mm
	前後移動量 45mm
スライド	a.同時視用(青枠)・・・8組(各2枚) b.融像視用(黄枠)・・・8組(各2枚) c.立体視用(赤枠)・・・5組(各2枚) d.残像検査用(白枠)・・・1組(2枚) e.カップ角測定用(緑枠)・・・3組(各2枚) f.他覚的回旋偏位用(緑枠)・・・1組(2枚) g.アニメーション用(白枠)・・・1組(2枚)
自動点滅装置	速度調整範囲 30 ~ 150 回/min
手動点滅装置	押しボタンスイッチ
無段階視野絞り装置	Φ10~50 mm
使用電球	スライド用白熱電球 8V 0.7A H.B.用電球 8V 3A
使用電源	~ 100V 50/60Hz
消費電力	64VA
ヒューズ	1.0A 250V
電撃に対する保護	形式 クラス I 機器
	程度 B 形機器
寸法(mm)	550(W)×320(D)×422(H)
重量	18kg (本体)

**【使用目的又は効果】**

斜視の診断と治療を中心として使用される機械であり、主として眼位検査、両眼視機能検査、視能矯正訓練に用いられる。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

## 【使用方法等】

1. 被検者を本器の前に座らせ、被検者の目の動きが見やすい位置になるように顎受け、額当ての位置を調整する(被検者が正しく接眼部の中央から見る事ができるように、又検者が被検者の角膜反射像を観察できるようにする)。
2. 架台部の左右にある瞳孔距離調整ハンドルを回転させ、接眼部間の距離を被検者の瞳孔距離に合わせる。
3. 各可動部の目盛が全て0になっている事を確認し、被検者に屈折異常がある場合は眼鏡を装着させるか、補助レンズホルダーに必要なレンズを挿入して矯正する。この状態での検査は遠見眼位であり、近見眼位での検査をする場合には、補助レンズホルダーに凹3.0Dのレンズを挿入する。
4. ハーフミラー付接眼を使用する事により、検査中に外界を望遠できる為、近接性内よせや軽度の器械調節性内よせの介入等を、ある程度取り除く事ができる。又、検査、治療中に検者が被検者眼の角膜と、そこに投影されるスライドの固形を同時に観察する事もできる。
5. フリッカーの点及び滅の同時時間調整及び時間差調整は、基台前面の左右にあるフリッカー速度調整ソマミを回転させ、両方を調整する。
6. スライドの同時視用には青枠、融像視用には黄枠、立体視用には赤枠、カッパ角と他覚的回旋偏位には緑枠、アニメーションと残像には白枠の縁取りがされており、その各々の組み合わせ毎に番号及び左右の別が印してある。  
そのスライドをスライド室へ入れる場合は、スライドの組み合わせ、向き、左右等に注意する事。なお左右の別は被検者側より見た場合である。
7. 残像検査の際、拡散板 ON/OFF レバーを回転させることにより、ランプと接眼部の光路間に配置されている拡散板を外し、より高照度にする事ができる。

## 【使用上の注意】

1. 熟練した者以外には本器を使用しないこと。
2. 本器を設置する時には、次の事項に注意すること。
  - (1) 室温+10～+30°C、湿度 85%以下、ほこりが無く水の掛からない場所に設置すること。
  - (2) むやみに振動や衝撃を与えない安全性であること。
  - (3) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所でないこと。
3. 本器を使用する前には、次の事項に注意すること。
  - (1) 内部収納の乾電池が正常な電圧で、十分使用に耐え劣化の無いこと。
  - (2) 点検を行い本器が正確に作動することを確認すること。
4. 本器の使用中は、次の事項に注意すること。
  - (1) 本器及び患者に異常の無いが絶えず監視すること。
  - (2) 本器及び患者に異常が発見されたら、直ちに使用を止めること。
  - (3) 本器に患者がふれることのないよう注意すること。
5. 本器の使用後は、次の事項に注意すること。
  - (1) 本器全般を清浄しておくこと。
  - (2) 本器を勝手に修理したり、改造したりしないこと。

## 【保管方法及び有効期間等】

1. 本器を保管する場合は、電源スイッチを必ず「OFF」(O)にし、電源コードはコンセントより抜き取り、本体の汚れを防ぐ為ダストカバーを必ずかけ、下記の場所に保管して下さい。
  - (1) 水のかからない場所に保管して下さい。
  - (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオン分を含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管して下さい。
  - (3) 傾斜、振動、衝撃など安定状態に注意して下さい。
  - (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないで下さい。
  - (5) 保管時には下記の環境条件を厳守して下さい。

保管環境条件	
温度	-10°C～+55°C
相対湿度	10%～95%

## 【保守・点検に係る事項】

1. 機器及び部品は必ず点検(日常点検、定期点検)を行なって下さい。
2. 本体が水平に設置されているか確認して下さい。
3. 全てのコードの接続が正確でかつ完全であるか確認して下さい。
4. 各ソマミを回転させた時、各部が軽く動くか確認して下さい。
5. 投影光の周辺に赤味を帯びた光が無いか確認して下さい。
6. 電球の上面が黒く曇っていないか確認して下さい。
7. 各電球、ヒューズが切れていないか確認して下さい。
8. しばらく使用しなかった本器を再使用する時には、正常にかつ安全に作動することを確認すること。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：株式会社イナミ

113-0033 東京都文京区本郷三丁目24番2号

TEL 03-3814-1731/FAX 03-3814-3334

製造業者：株式会社イナミ 美木木研究所